JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 04287089 A

(43) Date of publication of application: 12.10.92

(51) Int. Cl G09G 3/28

(21) Application number: 03051743

(22) Date of filing: 15.03.91

(71) Applicant:

FUJITSU LTD

(72) Inventor:

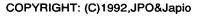
MATSUI NAOKI KANEKO KEIICHI OBATA SHOICHI SHIBATA HIROYUKI

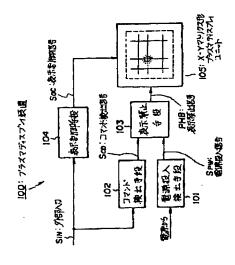
(54) PLASMA DISPLAY DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent the abnormal display of a plasma display device incorporating a display controlling even when the scanning output period of the display controller is unsettled or a display command is given in this period.

CONSTITUTION: The plasma display device provided with an X-Y matrix type plasma display unit 105 on which a picture is displayed based on a display control signal SGC by plasma discharging light emission and a display control means 104 which outputs the display control signal SGC based on an input SIN from the external related to picture display consists of a power-on detecting means 101 which detects power-on of the plasma display device to output a power-on signal SPW, a command detecting means 102 which detects supply of an initializing command from the input SIN to output a command detection signal SCD, and a display inhibiting means 103 which inhibits the display operation of the plasma display unit 105 till the output of the command detection signal SCD.





(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-287089

(43) 公開日 平成 4年(1992) 10月12日

(51) Int.Cl.5

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G 0 9 G 3/28

N 9176-5G

審査請求 未請求 請求項の数1(全 8 頁)

(21)出願番号

特願平3-51743

(22)出願日

平成3年(1991)3月15日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 松井 直紀

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 金子 啓一

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 小幡 昌一

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 石川 泰男

最終頁に続く

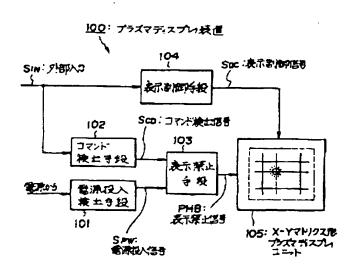
(54) 【発明の名称】 プラズマデイスプレイ装置

(57)【要約】

【目的】 プラズマディスプレイ装置に係り、より詳しくは、ディスプレイコントローラを内蔵した形式のプラズマディスプレイ装置に関し、ディスプレイコントローラの走査出力周期が不定の期間及びその期間に表示コマンドが与えられた場合等においても異常表示を防止し得るプラズマディスプレイ装置を提供する。

【構成】 表示制御信号Scc に基づきプラズマ放電発光により画像を表示するX-Yマトリクス形プラズマディスプレイユニット105と、画像表示に関する外部からの入力Scc に基づき表示制御信号Scc を出力する表示制御信号Scc を出力する表示制御手段104と、を備えたプラズマディスプレイ装置への電源投入信号Scc を出力する電源投入を検出して、入力Scc や出力する電源投入を検出しるで、入力Scc や出力するコマンド検出信号Scc を出力するコマンド検出信号Scc と出力するコマンド検出信号Scc と出力するコマンド検出信号Scc と、電源投入信号Scc と出力するコマンド検出信号Scc と、電源投入信号Scc と、を有して構成される。

本発明的原理證明四



【特許請求の範囲】

表示制御信号(Scc)に基づきプラズマ 【請求項1】 放電発光により画像を表示するX-Yマトリクス形プラ ズマディスプレイユニット (105) と、画像表示に関 する外部からの入力(Six)に基づき前記表示制御信号 (Scc)を出力する表示制御手段(104)と、を備え たプラズマディスプレイ装置において、当該プラズマデ ィスプレイ装置への電源投入を検出し電源投入信号(S 11) を出力する電源投入検出手段(101)と、前記入 カ (Six) 中から初期化コマンド (Crs) の投入を検出 しコマンド検出信号 (Sca) を出力するコマンド検出手 段(102)と、前記電源投入信号(S_F)出力後、前 記コマンド検出信号(Sca)出力までの期間、前記プラ ズマディスプレイユニット(105)の表示動作を禁止 する表示禁止手段(103)と、を有することを特徴と するプラズマディスプレイ装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

)

)

【産業上の利用分野】本発明は、プラズマディスプレイ 装置に係り、より詳しくは、ディスプレイコントローラ を内蔵した形式のプラズマディスプレイ装置に関する。

[0002]

【従来の技術】従来のプラズマディスプレイ装置は、CRTC(CRTコントローラ)やLCDC(LCDコントローラ)等のディスプレイコントローラを用いず、独自のCRTインタフェース準拠仕様でユーザに提供されていた。しかし、最近、ホストコンピュータに直結できるCRTインタフェースに接続できる形式の装置に対する需要が高まってきたことにより、このCRTインタフェースで駆動するためのCRTCやLCDCを内蔵した30プラズマディスプレイ装置が使われるようになった。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかし、これらのディスプレイコントローラを内蔵したプラズマディスプレイ装置においては、電源投入後、ホストコンピュータからのパラメータセット(初期化)コマンド投入によりディスプレイコントローラからの走査出力周期を一定させるまでの期間、及び、誤ってパラメータセット(初期化)コマンドを実行せずに表示コマンド等の他のコマンド処理を行った場合においては、表示に対してなんらの処置も行っていなかった。このため、前記のようなディスプレイコントローラからの走査出力周期が不定の期間、及びその期間中に表示コマンドが与えられた場合等においては、異常表示が発生する場合があるという問題があった。

【0004】そこで、本発明は、ディスプレイコントローラの走査出力周期が不定の期間及びその期間に表示コマンドが与えられた場合等においても異常表示を防止し得るプラズマディスプレイ装置を提供することを目的とする。

[0005]

2

[0006]

【作用】上記構成を有する請求項 1 記載の発明によれ ば、図1の原理説明図において、プラズマディスプレイ 20 装置100への電源投入後、電源投入検出手段101は 表示禁止手段103に電源投入信号S┍╸を出力し、表示 禁止手段103はX-Yマトリクス形プラズマディスプ レイユニット105に対して直ちに表示禁止信号PHB を出力し、X-Yマトリクス形プラズマディスプレイユ ニット105の表示動作を禁止する。その後ホストコン ピュータより初期化コマンドが投入され、コマンド検出 手段102がこれを外部入力Siv中から検出すると、コ マンド検出信号Sιωが表示禁止手段103に出力され る。このことにより、表示禁止手段103はX-Yマト リクス形プラズマディスプレイユニット105に対して 出力していた表示禁止信号PHBを解除し、以後ホスト コンピュータからのコマンドに応じて表示動作が可能と なる。

【0007】これにより、図4に示すようにプラズマディスプレイ装置100の電源投入後、ホストコンピュータからの初期化コマンドを受けつけるまでの期間、XーYマトリクス形プラズマディスプレイユニット105を表示禁止状態にすることにより、その期間における異常表示を防止することができる。すなわち、表示制御手段104中のディスプレイコントローラ(図示せず)の走査出力周期が不定であるような期間、及びその期間中に表示コマンドが与えられた場合等であっても、X-Yマトリクス形プラズマディスプレイユニット105の表示動作は強制的に禁止されているので、異常表示は防止される。

[0008]

【実施例】次に、本発明の好適な実施例を図面に基づいて説明する。図2は本発明の一実施例の構成を示す図である。図に示すように、このプラズマディスプレイ装置100Aは、外部からの入力を受け入れるインタフェー

スパッファ回路1と、これらの入力に基づき駆動信号A CTを出力するディスプレイコントローラ2と、AC入 カムIをこのプラズマディスプレイ装置100Aの各部 に供給する電源ユニット8と、電源ユニット8における 電源投入を検出するとともに前記入力中の初期化コマン ドを検出し当該期間中表示禁止信号PHBを出力する表 示禁止信号出力回路3と、画像情報を一時格納するビデ オRAM回路4と、ディスプレイコントローラ2中に含 まれるキャラクタジェネレータ(CG:図示せず)用の データ情報等を格納するCGROM回路5と、駆動信号 10 ACTを表示制御信号に変換する駆動信号変換回路 6 と、この表示制御信号により画像を表示するX-Yマト リクス形プラズマディスプレイユニット12と、を備え ている。

【0009】また、X-Yマトリクス形プラズマディス プレイユニット12は、プラズマ放電発光により画像を 表示するプラズマディスプレイパネル(以下、PDPパ ネルと略称する。) 11と、PDPパネル11上のY電 極(図示せず)を駆動するYドライバ9と、PDPパネ ル11上のX電極(図示せず)を駆動するXドライバ1 0と、前記表示制御信号に基づきYドライバ9及びXド ライバ10を制御するPDPコントローラ7と、を有し ている。

【0010】ここに、外部からの入力としては、データ 線DT、選択信号SL、アドレス線AD、R/W信号R W、リセット信号RSTがある。また、表示制御信号と しては、水平同期信号Hstrc、垂直同期信号Vstrc、ク ロック信号CLK、データ信号DAがある。ここで、X Yマトリクス形プラズマディスプレイユニット12は X-Yマトリクス形プラズマディスプレイユニット10 5に相当する。ディスプレイコントローラ2とピデオR AM回路4とCGROM回路5と駆動信号変換回路6と は表示制御手段104を構成している。

【0011】次に、図2における表示禁止信号出力回路 3のより詳細な構成を図3に示す。この表示禁止信号出 カ回路 3 は、図に示すようにコマンドコード設定回路 3 1 と比較回路32とフリップフロップ回路33とAND 回路34とパワーオンリセット用IC35とを有してい る。図3において、コマンドコード設定回路31はホス トコンピュータからのパラメータセットコマンドなどの 初期化コマンドのコードに対応してコード設定するため の設定スイッチ、設定端子等を含む設定回路である。比 較回路32は、ホストコンピュータからのコマンドコー ドとコマンドコード設定回路31のコマンドコードとを 比較するためのMagnitude Comparator等の比較回路であ る。フリップフロップ回路33は、ホストコンピュータ より初期化コマンドが投入されたことを検出した場合 に、表示禁止信号PHBを出力するフリップフロップ回 路である。AND回路34は、ホストコンピュータから このプラズマディスプレイ装置100Aにコマンドが投 *50* 及び、誤って初期化コマンドを実行せずに表示コマンド

入されたことを検出するAND回路である。パワーオン リセット用IC35は、このプラズマディスプレイ装置 100Aの電源が立ち上がったことを検出するパワーオ ンリセット用 I Cである。 次に、図3及び図4を用い てこの表示禁止信号出力回路3の動作を説明する。図4 に示すように、プラズマディスプレイ装置100Aの電 源が投入されると、パワーオンリセット用IC35の出 カPWはVィィの電圧を検出し、規定値になるまで"L" レベルを保つ。この場合、Vccが2.0V位まではPW の出力は不定である。そして、規定値に達すると、パワ ーオンリセット用IC35は"H"レベルのPWを出力 するが、規定値に到達後もある一定期間T。 の間は "L"レベルを出力するように外部設定される。

【0012】このパワーオンリセット用IC35の出力 PWをリップフロップ回路33のCLR端子に入力する ことにより、フリップフロップ回路33の出カPHB (表示禁止信号) は電源投入後直ちにクリアされ"L" レベルとなる。そして、この表示禁止信号PHBをPD Pコントローラ7のRST端子に入力することにより表 示禁止信号PHBが "L" レベルの期間はYドライパ9 及びXドライバ10の出力を高インピーダンス状態と し、PDPパネル11への表示が禁止される。この状態 でホストコンピュータより表示コマンド等が投入されて も (a)、パラメータセットコマンドとコマンドコード が一致しないため、比較回路32の出力CPは"H" (A=B) にならずフリップフロップ回路33の出力P HBは"L"レベルのままで表示禁止は解除されない。 【0013】次に、ホストコンピュータよりパラメータ セットコマンドが投入されると(b)、コマンドコード が一致し、比較回路32の出力は"H"(A=B)とな るためその立ち上がりエッジにてフリップフロップ回路

表示禁止状態とはならない。 【0014】このようにして、図4における期間Traの 間はX-Yマトリクス形プラズマディスプレイユニット 105の表示が禁止される表示 禁止期間となる。ここ に、パワーオンリセット用IC35は電源投入検出手段 101に相当する。また、コマンドコード設定回路31 と比較回路32とAND回路34とはコマンド検出手段 102を構成している。そして、フリップフロップ回路 33は表示禁止手段103に相当している。

33の出力PHBは"L"から"H"に変化し、表示禁

止が解除される。その後表示コマンドが投入されても

(c)、フリップフロップ回路33の出力PHBの

"H"レベルは変化しないため、電源を再投入するまで

[0015]

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、 プラズマディスプレイ装置の電源投入後ホストコンピュ ータからの初期化コマンドの投入によりディスプレイコ ントローラからの走査出力周期を一定させるまでの期間 5

等の他のコマンド処理を行った場合においても異常表示 が発生することを防ぐことができ、プラズマディスプレ イ装置の性能向上に寄与するという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の原理を説明する図である。
- 【図2】本発明の一実施例の構成を示す図である。
- 【図3】本発明の一実施例における表示禁止信号出力回路の構成を示す図である。
- 【図4】本発明の一実施例の動作を示すタイミングチャートである。

【符号の説明】

- 1…インタフェースパッファ回路
- 2…ディスプレイコントローラ
- 3 …表示禁止信号出力回路
- 4…ビデオRAM回路
- 5 ··· C G R O M 回路
- 6 … 驱動信号変換回路
- 7…PDPコントローラ
- 8…電源ユニット
- 9… Yドライバ
- 10…Xドライバ
- 11…PDPパネル
- 12…X~Yマトリクス形プラズマディスプレイユニット
- 31…コマンドコード設定回路
- 3 2 …比較回路
- 33…フリップフロップ回路
- 3 4 ··· A N D 回路

)

35…パワーオンリセット用IC

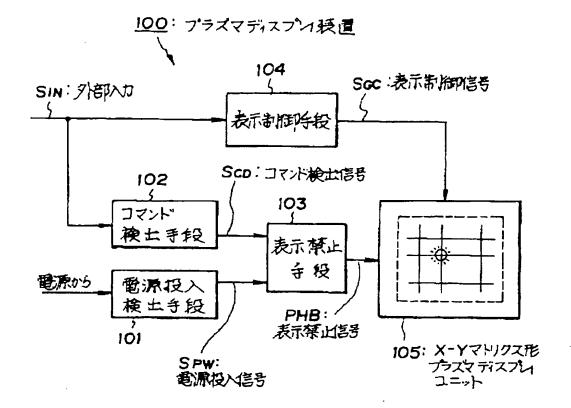
100、100A…プラズマディスプレイ装置

- 101…電源投入検出手段
- 102…コマンド検出手段
- 103…表示禁止手段
- 104…表示制御手段
- 105…X-Yマトリクス形プラズマディスプレイユニ
- ット
- ACT…駆動信号
- AD…アドレス線
- 10 A I ··· A C 入力
 - CLK…クロック信号
 - CP…比較出力
 - DA…データ信号
 - DT…データ線
 - EB…AND回路出力
 - Hsrsc…水平同期信号
 - PHB…表示禁止信号
 - PW…パワーオンリセットIC出力
 - RST…リセット信号
- 20 RW…R/W信号
 - Sco…コマンド検出信号
 - Scc…表示制御信号
 - Six…外部入力
 - Sru…電源投入信号
 - S L ···選択信号
 - T。…一定期間
 - Tri···表示禁止期間
 - Vcc···電源電圧
 - Vsrxc···垂直同期信号

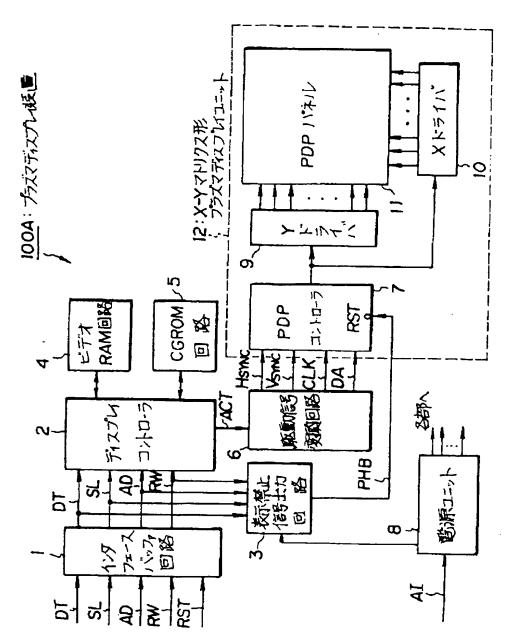
【図1】

本発明の原理説明図

)



1四21本発明の一実、施例の構成を示す図

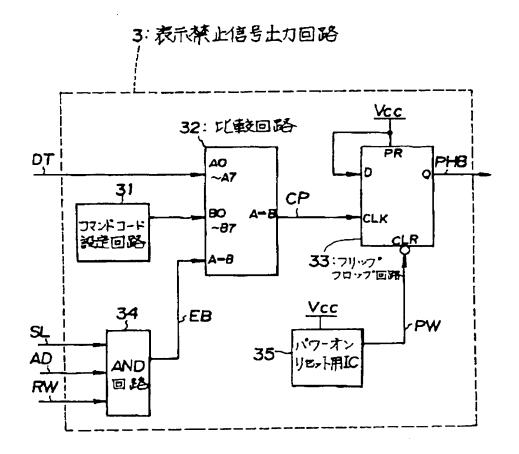


_)

.

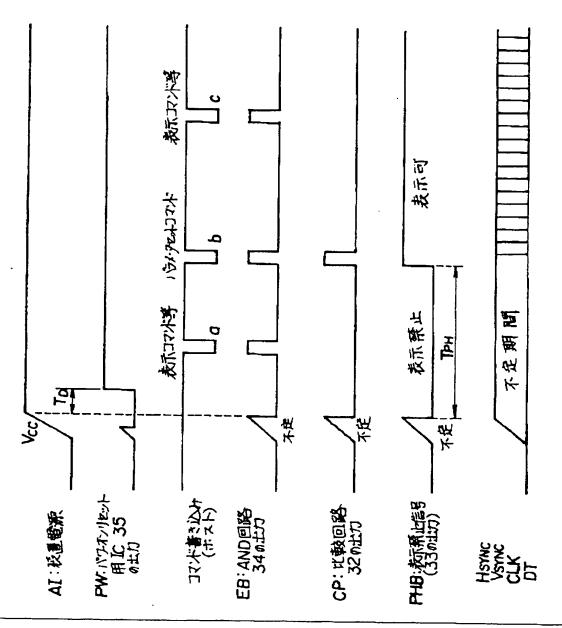
[図3]

本発明の一実施例におりる表示禁止信号上の回路の構成を示す図



)

【図4】 本発明の一実施例の動作を示すタイミングを一ト



フロントページの続き

`)

(72) 発明者 柴田 博之 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通妹式会社内